

クイックガイド

燃料 無鉛レギュラーガソリン

エンジンオイルは
入っていません。油圧オイルは
入っていません。

安全に正しくお使いいただくために、ご使用前に
本ガイドと WEB 取扱説明書を必ずお読みください。
ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。

詳細は
WEB 取説を
ご覧ください



ハイガー株式会社はSDGs・カーボンニュートラルの取組の一環として、紙の取扱説明書を大幅に削減いたしました。
どうぞご理解ください。



初版

安全上のご注意

お使いになる人や他人への危害・財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■表示内容を見逃して、誤った使い方をしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告 この表示の欄は「死亡または重症を負う恐れがある」内容です。



注意 この表示の欄は、「軽症、物的損害、故障が生じる恐れがある」内容です。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



このような絵表示は、してはいけない「**禁止**」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「**強制**」内容です。

日々製品（部品やカラーも含め）の改良を行っています。
そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。

警告（製品に係る安全事項）



禁止

本機は、枝木を粉碎するための機械です。指定された用途以外には使用しないでください。

燃料の臭いがする場合、運転をしないでください。爆発の危険があります。

排気ガスは吸入しないでください。エンジンの排気ガスには人体に有毒な成分が含まれています。特に一酸化炭素は無色無臭で非常に強い毒性があり、吸入すると死亡の恐れがあります。

エンジンが熱いうちは、給油しないでください。

換気の悪い場所や燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。

運転時、給油時は、喫煙など火気を発生させないでください。

可動している部分の近くに手または足を入れないでください。

未成年者の単独使用は禁止です。保護者等の監督下で作業してください。



強制

周囲の動植物等にも排気ガスが当たらないように注意をしてください。

給油時は、付近にタバコ等の火気の無いことを確認してください。燃料は非常に引火しやすく、気化した燃料は爆発の危険があります。

給油時、燃料タンクの給油限界位置を超えないようにしてください。温度上昇によって燃料が膨張し、漏れることがあります。

給油は、身体に帯電した静電気を除去してから行ってください。引火の恐れがあります。

給油中にこぼれた燃料はきれいに拭きとってください。燃料を拭いた布等は、火災に注意して処分してください。

燃料を衣服にこぼした場合、直ちに衣服を着替えてください。衣服へ引火する危険があります。

燃料タンクキャップは確実に閉めてください。運転中にこぼれると火災の恐れがあります。

始動前点検を実施してください。

使用前には、可動部分の位置及び締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他動作に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。

⚠警告（製品に係る安全事項）

 禁止	改造、分解は絶対に行わないでください。安全性・信頼性が低下したり故障の原因になります。また、弊社の保証サービスは一切受けられなくなります。	 強制	使用中に異常音、異常振動があったときは、直ちに使用を中止し、点検、修理を行ってください。
	正しい操作を知らない人、子供、妊娠中の方には操作をさせないでください。		点検整備を行なう場合はエンジンを停止してください。エンジンが不意に始動すると、思わぬ事故につながる恐れがあります。
	成年者でも、操作の仕方がよく分からない場合は、独自の使用をしないでください。		点検整備はエンジンが冷えてから行ってください。エンジン本体やマフラー部のほか点火プラグの温度も高くなっており、やけどの恐れがあります。
	運転中は、回転部や可動部に手足や衣類を近づけないでください。触れると巻き込まれて重大なけがや死亡事故につながるおそれがあります。		破損した部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
	運転中は絶対投入口、排出口を覗き込んだり、排出口の下に入らないでください。		修理の知識や技術のない方は、事故やけがの原因となるおそれがあるため、自分で修理しないでください。
	点火源となるような機器の近くに保管しないでください。燃料の蒸気へ引火する恐れがあります。		自動車で運搬するときは、燃料タンクの燃料を抜き、燃料コックを閉じてください。振動等により燃料が漏れることがあります。
	本機を密閉された場所に燃料を入れたまま放置しないでください。燃料が蒸発し、爆発の危険があります。		長期間使用しない場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のないところに保管してください。
 強制	運転前に燃料漏れがないか点検・確認してください。		本機をご使用になる前に、エンジンの始動、停止の仕方を覚えてください。
	エンジンを始動するときは、周囲に人や動物がいないことを確認してください。		子供の手の届かない安全な場所に保管してください。
	エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどをすることがありますので注意してください。		ご使用前にこの説明書をお読みにになり取扱の注意事項をよく理解したうえでご使用ください。

⚠注意（製品に係る安全事項）

 禁止	古い燃料は使用しないでください。	 強制	給油中、燃料タンク内に雪や水、ホコリが入らないように注意してください。
	燃料は無鉛レギュラーガソリンを使用してください。		使用中に異常音、異常振動があったときは、直ちに使用を中止し、点検、修理を行ってください。
 強制	定期的にエンジンオイルを交換してください。		シートカバーなどは機械が十分冷めてからかけてください。
	部品交換は、純正部品を使用してください。		定期点検整備を行ってください。

⚠警告（作業に係る安全事項）

 禁止	身体の調子が悪い時や、判断力に影響するような酒類、薬物を服用しているときは、使用しないでください。	 強制	水平で安定した場所に設置してください。
	運転中に点火プラグキャップに触れないでください。感電する恐れがあります。		運転中は、排気ガスに十分注意してください。
	動作中に回転部分に顔や手足を近づけないでください。		停止中でも、直接刃物に触れないでください。怪我をすることがあります。
	ご使用時は、使用者から15m以内は危険です。人やペットが入らないようにしてください。		エンジンの周りに、草や木クズなど燃えやすいごみを蓄積させないでください。
	夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くないときは使用しないでください。		使用前に接続部の緩み、ネジの緩みや欠落した部品などがないこと、亀裂、摩耗、破損のないこと等、各部に異常がないことを確認してください。
	足元が滑りやすい、転倒しやすい場所では使用しないでください。		長い髪は束ね、帽子やヘルメットでカバーしてください。
	舗装地、砂利、その他硬い地面や急傾斜地では使用しないでください。振動で本体が動き思わぬ事故につながる恐れがあります。		適切な間隔で休憩をとってください。
	運転中は絶対に排出口の前に立たないでください。		本機から離れるときは、必ずエンジンを停止してください。
	気温が高い時の作業は避けてください。		移動するときは、エンジンを停止してください。
	燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。		危険を感じたり、予測される場合も、必ずエンジンをすぐに停止してください。
	機械の稼働部分に絡まるような衣服、装飾品、タオルなどは着用しないでください。		持ち運ぶときは、エンジンを停止し、燃料タンクから燃料を抜取ってください。

⚠注意（作業に係る安全事項）

 禁止	エンジンがかかっている状態で本製品から離れないでください。	 強制	作業前に回転刃に欠け、ヒビや曲がり、破損がないか点検してください。
			作業中にベルトの異音や異臭、異常な振動があった場合には、速やかにエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから詰まりを除去し、異常がないか調べてください。異常があった場合には、完全に補修した後でなければ本機を再始動しないでください。
			すべりにくい安全靴、防振手袋、保護メガネ、ヘルメット、耳栓、防塵マスクなどの作業に適した服装を心掛けてください。
			万一に備え、救急箱、タオル、外部連絡用電話を用意してください。
			本機を長時間使用しないときは、取扱説明書に従って保管してください。

各部の名称

※本取扱説明書に掲載されている写真はプロトタイプのため、本製品と仕様が異なる場合があります。



梱包部品一覧

1. ユニットとすべてのアクセサリを慎重に箱から取出し、全てのユニット・アクセサリに不足・問題がないことを確認してください。
2. 製品を注意深く点検し、輸送中の損傷がないことを確認してください。万が一損傷が見受けられた場合は、運送会社に1週間以内に連絡をしてください。
3. 梱包材を慎重に検査し、使用する前に廃棄しないでください。不足している場合は、お手数ですが弊社までご連絡ください。

警告

不足しているものがある場合は、不足している部品を入手するまで使用しないでください。

A. 本体	B. シュータ (排出口)
	ヒッチボールのサイズは2インチ (50mm) に対応
D. ホッパー (投入口)	C. タワーヒッチ
E. リコイルガード	F. プラグレンチ

※製造時期により部品の形状、内容物が変わる場合や本体に取付済みの場合があります。

※上記写真はプロトタイプのため、製品仕様と異なる場合や部品が本体に取付済みの場合があります。

■ご用意いただくもの

運転する場合に必要なもの

- ・無鉛レギュラーガソリン
- ・4 ストロークエンジンオイルSAE10W-30
- ・作動油 (ハイドロリックオイル32 番)
- ・漏斗 (じょうご)

組立てに必要なもの

- ・8mm、10mm、16～19mmスパナまたはレンチ

点検・整備に必要なもの

- ・六角レンチ ・ヒートガン ・ワイヤブラシ
- ・13mm、14mm、16～19mmスパナまたはレンチ

主要諸元

モデル名	HG-GS-15SF	HG-GS-15SFE
エンジン形式	4 ストロークOHV エンジン	
エンジン馬力	15HP	
総排気量	420cm ³	
粉碎可能な枝径	最大120mm ※材の硬さ・曲がり具合・繊維の密度などで変わります。	
粉碎可能な横幅	最大200mm	
ブレード回転速度	2250min ⁻¹ (rpm)	
始動方式	リコイル式	セル式／リコイル式
燃料	無鉛レギュラーガソリン	
燃料タンク容量	5.4L	
燃費 (無負荷)	≤ 4.13L/h(<=374g/kwh)	
エンジンオイル	SAE10W-30	
エンジンオイル容量	1.1L	
油圧オイル	作動油 (ハイドロリックオイル油圧用オイル32番)	

油圧オイル容量	4.0L	
刃 (チップナーナイフ)	2 枚	
三角刃 (ハンマーナイフ)	5枚1組×2	
互換点火プラグ	BPR7ES(NGK)	
重量	約325kg	約333kg
本体サイズ (幅×奥行き×高さ)	約830×2150×1560mm ※タワーヒッチ含む	
タイヤサイズ	16×8-7	

◎弊社は、顧客満足度100%を目指し、日々製品（部品やカラーも含め）の改良を行っています。そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。

組立て

⚠注意

- ・取扱説明書をよく読んで正しく取付けてください。
- ・作業は自身や周囲の確認をしながら安全に行ってください。
- ・組立て、運搬は2人以上で行ってください。
- ・組立て時は、手袋、長袖シャツなどの保護具を使用してください。
- ・平坦で固い地面の上で組立て作業を行ってください。

ホッパー（投入口）の取付け

本体にホッパー（投入口）を取付けます。

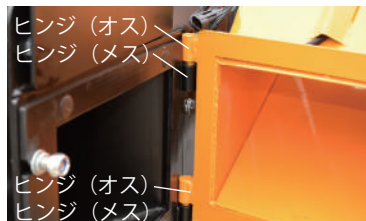
- 1 本体に仮留めしている平ワッシャ、スプリングワッシャ、ナット(17mm)を一旦取外します。



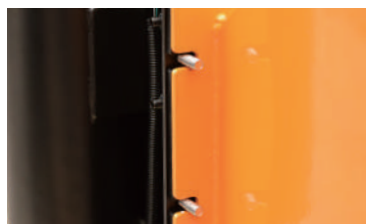
⚠注意

ナット類を取外しの際、粉碎室に落とさないよう十分ご注意ください。

- 2 本体ホッパー（投入口）取付位置のヒンジ（メス）にホッパー（投入口）のヒンジ（オス）を挿込みます。



- 3 本体ホッパー（投入口）取付ボルトに、平ワッシャ、スプリングワッシャ、ナットを取付け、スパナ(17mm)等で締付けます。



安全装置の配線

- 1 本体から出ているコードのコネクタと、ホッパー（投入口）から出ているコードのコネクタを接続します。2カ所接続します。





シュータ（排出口）の取付け

本体にシュータ（排出口）を取付けます。

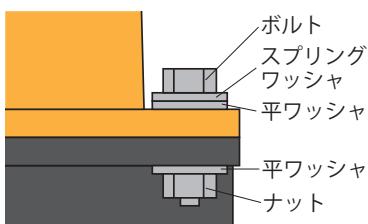
- 1 本体シューター（排出口）取付位置に仮留めしているボルト(16mm)・平ワッシャ、スプリングワッシャ、ナット(17mm)を一旦取外します。



- 2 本体のシュータ（排出口）取付口にシュータ（排出口）を乗せ、取付穴を合わせます。



- 3 ボルトにスプリングワッシャ、平ワッシャを通し、上から取付穴に挿込み、下から平ワッシャ、ナットで留めます。



- 4 スパナ等で4ヵ所を均等にしっかり締付けます。



- 5 排出方向を決め、17mmのスパナ等で4ヵ所を均等にしっかり締付けます。

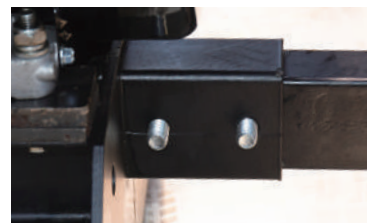
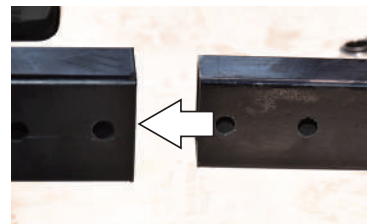


タワーヒッチの取付け

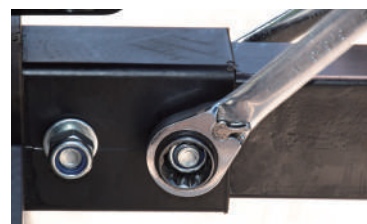
本体に牽引用のタワーヒッチを取付けます。

- 1 タワーヒッチに仮留めしているボルト(16mm)・平ワッシャ、ナット(17mm)を一旦取外します。

- 2 本体の取付穴とタワーヒッチの取付穴を合わせ、ボルトに平ワッシャを通し、穴に通します。



- 3 平ワッシャ、ナットを取付け、スパナ等で締付けます。



リコイルガードの取付け

本体にリコイルを保護するガードを取付けます。

- 1 リコイルガードに仮留めしているボルト(18mm)、スプリングワッシャ、平ワッシャ、ナット(19mm)を一旦取外します。



- 2 本体取付穴とリコイルガードの取付穴を合わせ、ボルトにスプリングワッシャ、平ワッシャを通し挿込み、反対側からナットで固定し、スパナ等で締付けます。

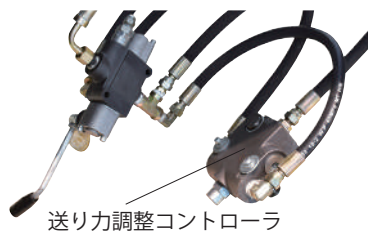




送り力調整コントローラの取付け

ホッパー（投入口）に送り力調整コントローラを取付けます。

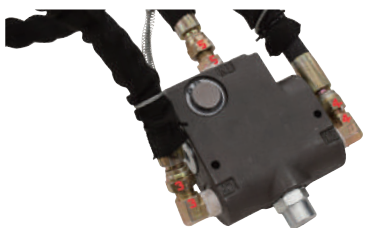
※製品版ではホースの保護のためカバーが施されています。



送り力調整コントローラ

1 各油圧ホースのシールテープを巻いている部分以外は、コントローラに仮留めされています。仮留めのホースを一旦取外すことで本体に取付けやすくなります。

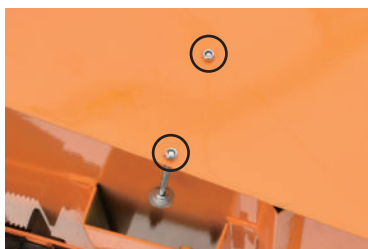
2 ホースを取外す前に必ず印をつけ、取付けの際間違わないようにしてください。



⚠注意

工場でオイルを入れて試運転しているため、ホース内に若干オイルが残っている場合があります。ホースを取外す際、ホースよりオイルがたれることがありますので、床に使い古しの布などを敷いて行ってください。

3 ホッパー（投入口）に仮留めしている外側の平ワッシャ、ナット（10mm）を一旦取外します。
※ホッパー内にボルト類を落とさないようご注意ください。



4 ホッパー内側のボルト（8mm）、平ワッシャを押さえながら、外側から平ワッシャを通し、コントローラをセットし、平ワッシャ、スプリングワッシャ、ナットで固定します。



ホッパー内側のボルト、ワッシャ

ホッパーとコントローラの間に平ワッシャ

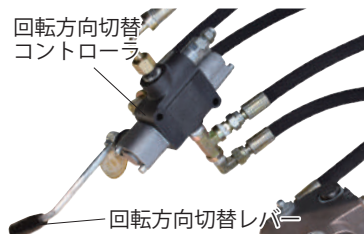


5 取外した油圧ホースをもとに戻します。



回転方向切替コントローラの取付け

ホッパー（投入口）に回転方向切替コントローラを取付けます。



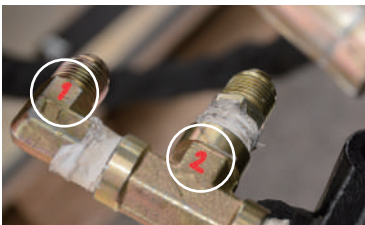
回転方向切替コントローラ

※製品版ではホースの保護のためカバーが施されています。

回転方向切替レバー

1 各油圧ホースのシールテープを巻いている部分以外は、コントローラに仮留めされています。仮留めのホースを一旦取外すことで本体に取付けやすくなります。

2 ホースを取外す前に必ず印をつけ、取付けの際間違わないようにしてください。



⚠注意

ホースを取外す際、ホースよりオイルがたれることがありますので、床に使い古しの布などを敷いて行ってください。

3 ホッパー（投入口）の底部分奥側に仮留めしているボルト、スプリングワッシャ、平ワッシャ、ステーを一旦取外します。



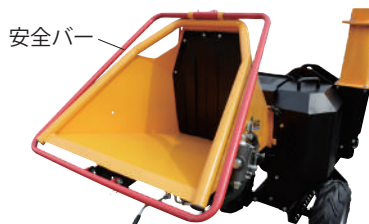
- 4** コントローラをホッパー下のステイに取り付け、各ホースを接続します。

- 5** 下にたるんでいる油圧ホースを持ち上げ、ステイにボルト、スプリングワッシャ、平ワッシャで固定します。(ホースは2本程度)



安全バーの調整

ホッパー（投入口）の回りに緊急時にエンジンを止める安全バーがあります。



この安全バーの押し込み量、硬さを調整することができます。



※初期設定では、押し込み量：大、硬さ：最大に設定されています。

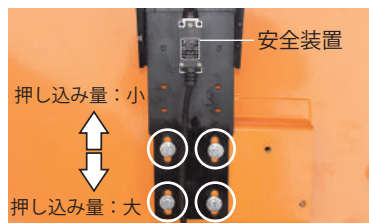
- 1** ホッパー下の○部分のボルト、ナットを緩めることで調整ができます。



- 2** ボルト、ナットを緩めることで硬さを調整できます。(緩め過ぎに注意)



- 3** ○部分のボルトを緩めることでステーが前後に移動できます。



- 4** Aの隙間が小さいと安全バーを少し押し下げただけで、安全装置が働きます。Aの隙間が大きい場合、安全バーを下まで押し下げないと安全装置が働きません。



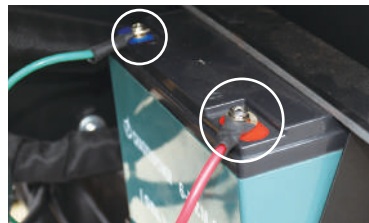
バッテリーの配線方法（セルスターター）

※この配線方法は、HG-GS-15SFE のみ必要です。

- 1** 本体下側から出ている赤と緑の線を確認します。



- 2** 赤、緑の順番で接続をします。



⚠注意

配線は、念のため手袋着用で行ってください。

取扱い

安全装置

- 1** 回転刃室カバーや上部カバーが開いているときは、安全装置が働き、エンジンがかかりません。エンジンをかける際は、カバーが確実に閉じていることを確認してください。



- 2** 緊急の場合は安全バーを強く押し下げ、エンジンを停止させます。再度エンジンをかける場合は、安全バーを押し上げ解除してください。



- 3** 緊急の場合は、緊急停止ボタンを押すことでエンジンを停止させることもできます。再度エンジンをかける場合は、緊急停止ボタンを時計回りに回して解除してください。



⚠ 警告

安全装置は絶対に無効にしないでください。

回転方向切替レバー

- 1** レバーを操作することで正回転、逆回転が可能となります。

逆回転



ニュートラル

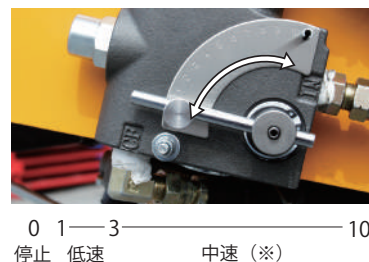


正回転



送り力調整レバー

- 1** レバーを操作することで速度の調整が可能となります。※トルク(材料を送り込むための力)重視のため、3～10までの速度の変化はありません。

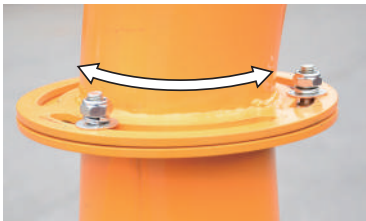


シュータ（排出口）角度・向きの変え方

- 1** ナットとノブレバーを緩め、角度を調整します。調整が終わったら締付けます。



- 2 シュータの中間部分のナット(17mm)を緩め、向きを調整します。調整が終わったら締付けます。



運転前の点検

警告

禁止	- エンジンが熱いうちは、給油しないでください。 - 燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。 - 運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。
強制	- 燃料を補給するときは必ずエンジンを停止して、屋外の換気の良い場所で行ってください。 - 燃料をこぼさないように注意してください。所定のレベルを超えて補給しないでください。 - 燃料がこぼれた場合は、直ちに拭取ってください。 - 燃料は、無鉛レギュラーガソリンを使用してください。 - 燃料キャップは確実に閉めてください。 - 長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のない所に保管してください。 - 給油中、燃料タンク内にホコリや水が入らないように注意してください。

燃料の点検・補充

使用燃料	自動車用無鉛ガソリン (レギュラーガソリン)
タンク容量	5.4L

燃料(無鉛ガソリン)の量を点検します。

出荷時には入っていません。

点検手順

- 1 燃料タンクキャップを外し、液面を見て残量を確認します。

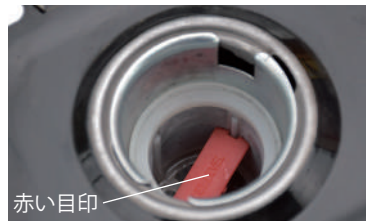


- 2 少ないときは上限の位置まで補給します。

- 3 点検後、燃料キャップをしっかりと閉めます。

給油方法

- 1 無鉛ガソリンを少しずつこぼさないように、上限(赤い目印)の位置まで給油します。



- 2 給油が終わったら燃料キャップをしっかりと閉めます。

エンジンオイルの点検

エンジンオイルは出荷時には入っていません。

必ず給油してください。また、工場で試運転をしているため、若干オイルが内部に残っている場合がありますので、給油の際は、こまめにオイルゲージで確認しながら給油してください。

点検手順

- 1 本体を水平な場所に移動させ、オイル給油キャップを外し、オイルゲージに付着したオイルを布などで拭取ります。



- 2 オイル給油キャップを一旦締付け、再度取外します。

- 3 オイルが、オイルゲージのオイル量範囲(中央)まであるか点検します。



適正量はゲージの中央です

反対側にもオイル補給口がありますが、こちらのキャップにはゲージは付いていません。



- 4 オイル量が少ないときは、新しいオイルを補給します。

推奨オイル	4 ストロークガソリンエンジン専用 100%化学合成油SAE10W-30 ・寒冷地は5W-30
オイル容量	1.1L

油圧オイルの点検

油圧オイル(作動油)は出荷時には入っていません。

必ず給油してください。また、工場で試運転をしているため、若干オイルが内部に残っている場合がありますので、給油の際は、こまめにオイルゲージで確認しながら給油してください。

点検手順

- 1 本体を水平な場所に移動させ、オイルゲージを抜き取り、布などで拭取ったあと、オイルゲージキャップを取付け一旦締付けます。





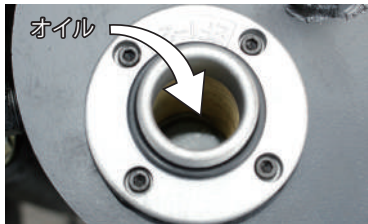
2 再度オイルゲージを抜き取りオイル量を確認します。

3 オイルが、オイルゲージのオイル量範囲(上限)までであるか点検します。



適正量はゲージの上限です

4 オイル量が少ないときは、新しいオイルを補給します。



使用オイル	ハイドロリックオイル 油圧用オイル32番
オイル容量	4.0L

ホッパー、シュータの点検

異物、枝木などを確認します。

点検手順

1 ホッパー(投入口)、シュータ(排出口)に異物、枝木などが入っていないことを、棒などを使って確認します。

2 異物や枝木などが残っている場合は、取除きます。

警告

ホッパー(投入口)、シュータ(排出口)には絶対手を入れないでください。

潤滑油やグリスの塗布

可動部部分には、使用前に潤滑油やグリスを塗布する習慣をつけましょう。(web取説の点検・整備の仕方「グリスの塗布」を参照)

運転操作の仕方 (HG-GS-15SFの場合)

警告



禁止

- ・燃料を補給した場所でエンジンを始動しないでください。
- ・換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
- ・ホッパー(投入口)に何も入っていないことを確認してください。
- ・エンジン始動と同時に刃が動きますので注意してください。
- ・エンジン始動と同時に排出口からチップが排出されることがありますので注意してください。
- ・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。やけどをすることがありますので高温部に触れないでください。



強制

- ・回転している部分の近くに顔を近づけたり、手または足を入れないでください。
- ・平坦な場所で作業を行ってください。
- ・エンジン始動後、異常を感じたり、予測される場合はすぐにエンジンを停止してください。
- ・本機から離れるときは必ずエンジンを停止してください。
- ・少しの移動でもエンジンを停止してください。

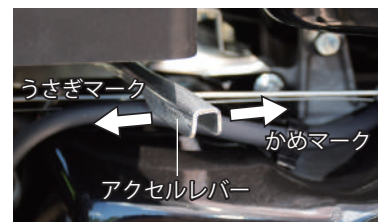
注意

エンジンを始動するときは、周囲に人や動物がいないことを確認してください。

エンジンのかけ方

出荷時には燃料、エンジンオイル、油圧オイルは入っていません。給油後に操作をしてください。

1 アクセルレバーを、「うさぎマーク」と「かめマーク」の中間にします。



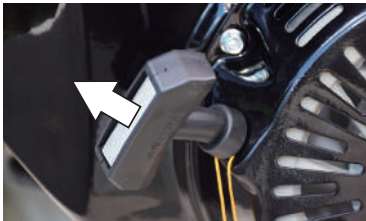
2 チョークつまみを左いっぱい(閉)にし、燃料コックを右いっぱい(ON)にします。



3 エンジンスイッチを「ON」にします。



- 4** 本機をしっかりと保持し、リコイルスターターロープを引きます。



※ロープを引き出すと止まる位置があるので、そこから素早く引きます。おおよそ60～70cm引いてください。(ロープは一杯に引ききらないでください。)引きが少ないとエンジンはかかりません。

⚠️ 注意

何度もチョークを閉じたままリコイルスターターロープを引くと、点火プラグを濡らしてしまいます。万一、濡らしてしまった場合は、web取説「困ったときの対処方法（点火プラグの点検）」をご覧ください。

リコイルの引き方ポイントはweb取説をご覧ください。

■ エンジンがかかったら

- 1** チョークつまみを右(開)に戻します。



- 2** 1～2分程度暖気運転を行い、運転状況を確認します。

- 3** 暖気運転の後、アクセルレバーを「うさぎマーク」左側にします。



- 4** 粉碎作業を行います。(web取説の運転操作の仕方「粉碎作業」を参照)

⚠️ 警告

- ・ 粉碎作業を行う場合は、高速回転（アクセルレバーを左側）で行ってください。
- ・ 作業を中断するときは、その都度アクセルレバーを右側にしてください。

エンジンの止め方

- 1** すぐにエンジンを止めずに空運転を1～2分を行い、内部の粉碎カスを排出させます。
- 2** エンジンスイッチを「OFF」にします。
- 3** 燃料コックを「OFF」にします。

※詳細はWEB取説をご覧ください。

保証内容について

本規約は、ハイガー（以下「弊社」とする）を経由して販売させていただいた該当商品に関して保証する内容を明記したものです。

弊社商品には商品保証書等は同梱しておりません。お客様の購入履歴や保証情報は弊社にて管理・保管しておりますのでご安心ください。

返送いただく場合商品を再梱包していただく必要がありますので、梱包材はお捨てにならないようお願いいたします。

1. 保証の期間

商品発送日（ご来店引取の場合ご来店日）から1年間といたします。業務用・営業用として使用される場合、保証期間は6ヵ月といたします。

保証期間を超過しているものについては、保証の対象外となり有償対応となります。

商品発送日より7日以内の初期不良にあたる場合、送料・手数料弊社負担にて対応いたします。

2. 保証の適用

・ お買い上げいただいた弊社商品を構成する各部品に、材料または製造上の不具合が発生した場合、本規約に従い無料で修理いたします。(以下、この無料修理を「保証修理」とする) 往復送料や出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。

・ 保証修理は、部品の交換あるいは補修により行います。保証修理で取り外した部品は弊社の所有となります。

・ 本規約は、第一購入者のみに有効であり、譲渡することはできません。ご購入された年月日、販売店、商品、製造番号の特定ができない場合、保証が受けられない可能性があります。

・ 本規約の対象となる商品とは、日本国内で使用し故障した商品とします。日本国外に持ち出した時点で保証は無効となります。

3. 保証適用外の事項

(1) 純正部品あるいは弊社が使用を認めている部品・油脂類以外の使用により生じた不具合

(2) 保守整備の不備、保管上の不備により生じた不具合

(3) 一般と異なる使用場所や使用方法、また酷使により生じた不具合

(4) 取扱説明書と異なる使用方法により生じた不具合

(5) 示された出力や時間の限度を超える使用により生じた不具合

(6) 弊社が認めていない改造をされたもの

(7) 地震、台風、水害等の天災により生じたもの

(8) 注意を怠った結果に起きたもの

(9) 薬品、雨、雹、氷、石、塩分等による外から受ける要因によるもの

(10) 使用で生じる消耗や時間の経過で変化する現象(退色、塗装割れ、傷、腐食、錆、樹脂部品の破損や劣化等)

(11) 機能に影響のない感覚的な現象(音、振動、オイルのにじみ等)

(12) 弊社または弊社が認めているサービス店以外にて修理をされた商品

(13) 使用することで消耗する部品または劣化する部品(ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギヤ・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、パネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、クラッチ、シャーピン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリー、点火プラグ等)

(14) 保証修理以外の、調整・清掃・点検・消耗部品交換作業等

(15) 商品を使用できなかったことによる損失の補填(休業補償、商業損失の補償、盗難、紛失等)

4. 別扱いの保証

部品メーカーが個別に保証している部品については部品メーカーの保証が適用されます。

5. 保証修理の受け方

まずはお問い合わせフォームにて弊社へご連絡ください。

またはお近くの修理協力店へご連絡をしてください。

症状・使用状況を伺い、お手続方法をご案内させていただきます。

6. 注意事項

・ 動作点検を行ってから出荷しておりますので、燃料やオイル、水分が残っていたり、多少の傷や汚れ等が付いている場合があります。

・ 部品の在庫がない場合、お取り寄せにお時間をいただくことがあります。

・ 仕様変更などにより同時交換部品が発生する可能性があります。

・ 仕様変更などによりアッセンブリーでの供給しかできない場合があります。

・ 生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合があります。

・ 無在庫販売者(送り先が毎回違う購入者)の場合、転売者より購入した商品の場合、保証は無効となります。

また発覚次第転売者への措置を取らせていただきます。

■ アフターサービスについて ■

1. 販売機種が対象となります。※弊社で商品をお買い上げの方に限らせていただいております。

2. 生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合があります。

3. 保証期間(1年間)を過ぎたものは、保証期間内におけるご使用回数に関係なく、すべて有償となります。

4. 修理の際の往復の送料はすべてお客様ご負担となります。

5. 修理協力店へ依頼の際は、直接修理協力店に修理代をお支払いください。